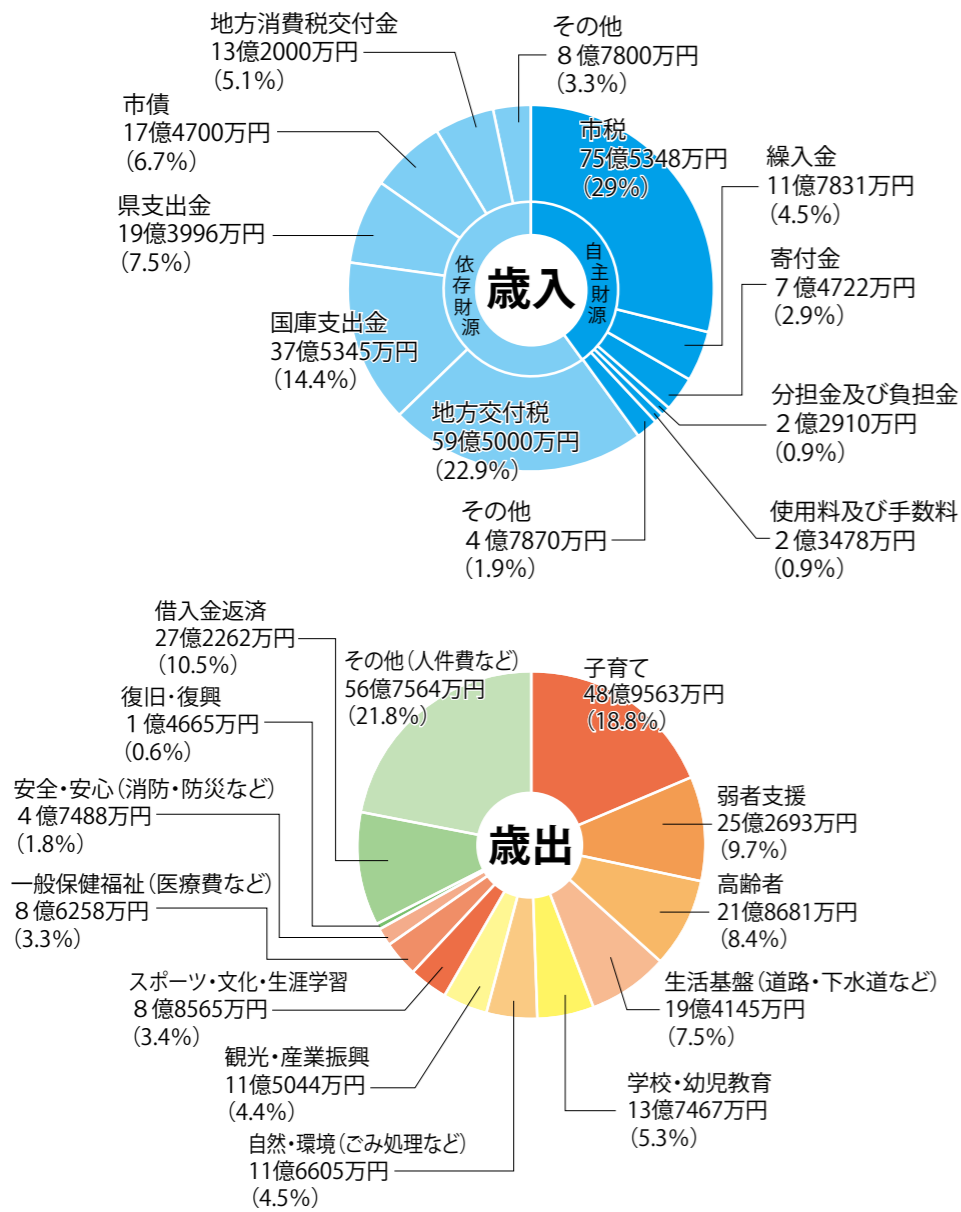


■一般会計の歳入と歳出の内訳



新型コロナウイルス
ワクチン接種事業



復興住宅整備事業



健康インセンティブ事業
“リン得”健康商品券

最少の経費で最大の効果を生む

×
ピンチをチャンスに変える

令和3年度予算

今年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策や西日本豪雨の復興事業を中心とした編成となりました。市のさらなる発展を目指し、これまで以上に市民一人ひとりに寄り添っていきます。

■一般会計・特別会計・公営企業会計別の予算額

区分	令和3年度	令和2年度	増減	前年度比
一般会計	260億1000万円	274億5000万円	▲14億4000万円	▲5.2%
特別会計	145億4900万円	147億円	▲1億5100万円	▲1%
国民健康保険	67億円	69億円	▲2億円	▲2.9%
後期高齢者医療	9億100万円	8億8700万円	1400万円	1.6%
介護保険	63億3000万円	62億円	1億3000万円	2.1%
国民宿舎事業費	6億1800万円	7億1300万円	▲9500万円	▲13.3%
公営企業会計	69億1328万円	65億9213万円	3億2115万円	4.9%
水道事業	34億2140万円	29億9510万円	4億2630万円	14.2%
工業用水道事業	3670万円	3760万円	▲90万円	▲2.4%
下水道事業	34億5518万円	35億5943万円	▲1億425万円	▲2.9%
合計	474億7228万円	487億4213万円	▲12億6985万円	▲2.6%

一般会計と4つの特別会計、3つの公営企業会計の令和3年度当初予算が決定しました。一般会計の総額は、260億1000万円です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市税の大きな減収を見込まざるを得ない厳しい財政状況を乗り越えるため、前年度当初予算と比べて14億4000万円、率にして5.2%の減額。困難な状況でも積極的にチャンスをつかみ、さらに人口が増加する市へ導けるよう、健全な財政運営に努めます。

新型コロナウイルス感染症対策には、ワクチン接種体制整備に必要な経費として4560万円などを計上。一層の予防対策に取り組みます。

西日本豪雨の復興事業は、7月に完了予定の復興住宅整備事業に3000万円、被災した昭和地区の活性化を支援する美袋駅前活性化事業に2500万円、災害の備えを強化する北部備蓄拠点整備事業に1350万円などを計上しています。

全国屈指の福祉文化先駆都市の実現に向けた福祉王国プログラムでは、健康づくりの施策で、自転車を活用した新たな健康商品券事業を加えた健康インセンティブ事業に4861万4000円を計上しています。

特別会計の総額は、前年度当初予算比1%減の145億4900万円です。上下水道関連の公営企業会計は、全体で4.9%増の69億1328万円。全会計の合計は474億7228万円、前年度当初予算比2.6%減となりました。

問い合わせ 財政課 (☎82228)